

大会名	第72回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会				チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	延長	合計
期日	H30.6.2	会場	TKCいちごアリーナ	試合No.	松陰	31	8	22	17		78
審判	(主) 平出 剛	(副) 真榮喜 工	若林 謙作	B6	土浦日大	22	13	25	20		80

八千代松陰高等学校(千葉)

コーチ 堀田 貴司 A・コーチ 平野 克也 マネジャー

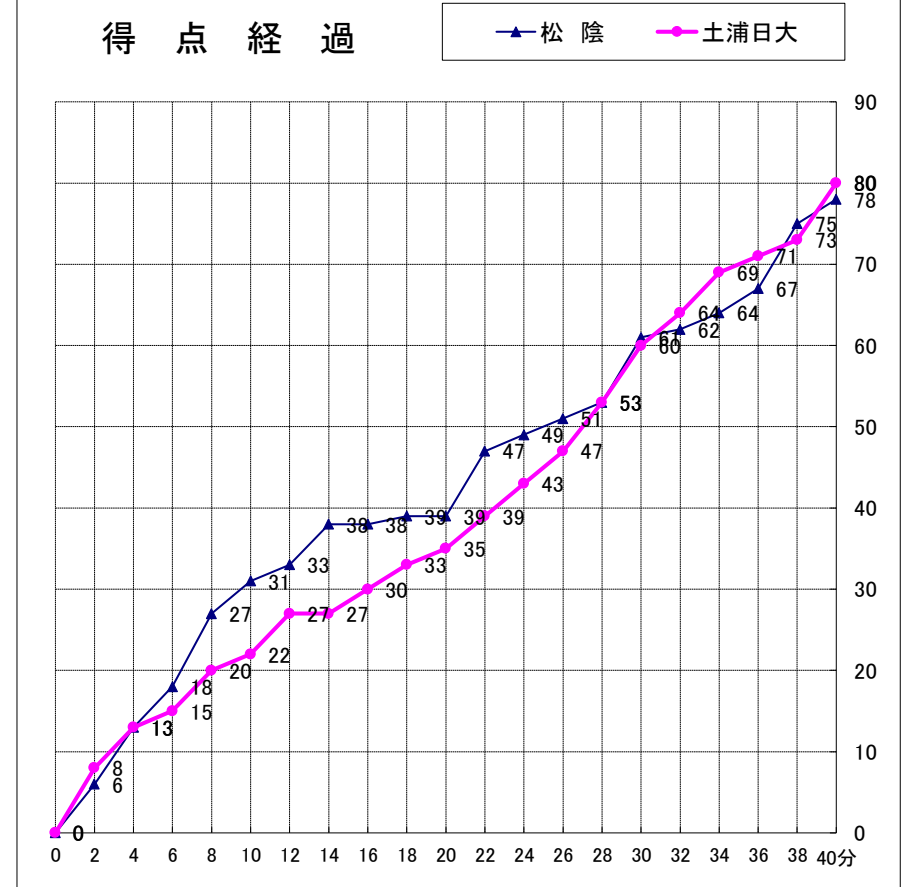
選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
磯脇 佑真	4	17	3	3	4	10	0	0	3	3	7	10
工藤 貴哉	5	18	5	20	1	3	1	2	3	4	10	14
松井 裕也	6	13	3	5	2	7	0	0	1	4	6	10
藤巻 俊哉	7	24	5	17	4	10	1	2	0	0	3	3
梶本 賀一	8	4	0	1	2	5	0	0	4	2	2	4
田崎 亜流	9											
大谷 鴻介	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩満 友斗	11											
薬袋 純平	12											
小河原 幹太	13											
深山 開	14											
安原 明優	15											
西原 雅人	16	2	0	0	1	2	0	0	1	1	0	1
大橋 英樹	17											
都築 凌治	18											
チーム合計		78	16	46	14	37	2	4	12	14	29	43
成功率			34.8%		37.8%		50.0%					

土浦日本大学高等学校(茨城)

コーチ 佐藤 豊 A・コーチ 高橋 佑輔 マネジャー 三浦 翔

選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
吉田 崇紘	4	14	0	0	6	9	2	2	2	4	13	17
細割 駿佑	5											
山崎 凜	6	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1
山内 龍也	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
吉村 公汰	8	26	1	7	9	20	5	7	2	3	4	7
飯野 椋太	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
結城 智史	10	11	0	1	5	8	1	1	2	2	4	6
神 魁社	11	4	0	1	2	7	0	0	0	0	1	1
塚越 胤信	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
陳岡 燈生	13	0	0	1	0	4	0	0	2	0	4	4
鍋田 亜廉	14	25	7	16	2	3	0	0	0	0	3	3
吉田 凜	15	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
久野 瑞稀	16											
澤 浩己	17											
松尾 凌平	18											
チーム合計		80	8	27	24	51	8	10	10	10	32	42
成功率			29.6%		47.1%		80.0%					

得点経過



戦評

2回戦、千葉の八松陰対茨城の土浦日大の対決。開始13秒で土浦日大の#14が3Pを決めるとすぐさま八松陰も#4が3Pを決め返す。両チームとも第1ピリオドから点の取り合いをする熱い試合。開始6分、土浦日大はディフェンスをマンツーマンから2-1-2ゾーンディフェンスに変更して流れを作ろうとする。それに対し八松陰は素早いパスワークからの3Pで応戦。第1ピリオドはアウトサイドが好調の八松陰が31-22でリードした。

続く第2ピリオドは一転して開始直後から土浦日大のペース。オフェンスでは#14がジャンパーを続けて決め、ディフェンスでは#4と#5がリバウンドとブロックで八松陰に点を与えない。開始2分半で八松陰はすかさずタイムアウト。これで落ち着きを取り戻した八松陰はようやくシュートが入り出すが、その後土浦日大がタイムアウトを取って流れを渡さない。結果、このピリオドの失点を8に抑えた土浦日大が追い上げ、39-35八松陰リードで勝負は後半線へと突入した。

後半は八松陰が#4の3Pを決めたことでシュートが入り出すが、土浦日大も反撃。次第に疲労が見え始めた八松陰に対し、土浦日大はリバウンドからの速攻で点差を縮めて第3ピリオド残り2分32秒#8のフリースローで同点に追いつき、その直後#4のリバウンドショットで逆転。このまま土浦日大のペースかと思われたが、八松陰も意地を見せ、その後は両チームがリードを奪い合う展開に。そして61-60八松陰リードで最終ピリオドへ。

第4ピリオドも両チームとも一歩も譲らない展開になったが、#10のパスカンで勢いに乗った土浦日大が次第に引き離していく。残り3分20秒で8点差となったところで八松陰がタイムアウト。その後のオフェンスで#6が3Pを決めて5点差に詰め寄ると、#5の3Pと#6のレイアップで同点に。ここで勢いに乗った八松陰は#7が3Pを決めて逆転。これで勝負ありかと思われたが、その直後土浦日大の#14が3Pを決め返して同点にした後、#4のレイアップで再び土浦日大が逆転。このリードを守り切った土浦日大が熱戦を制し、78-80で3回戦へと駒を進めた。

記入者 藤本 創